

第一生命グループのお客さま、そしてすべてのステークホルダーの皆さまへ

今、世界の多くの国で、多くの人々が新型コロナウイルス(COVID-19)の猛威に苦しんでいます。感染された方々にお見舞いを申し上げるとともに、不幸にもお亡くなりになった方々に心よりお悔やみを申し上げます。また、世界各地でこの前例のない災禍に立ち向かい、医療をはじめあらゆる場面で治療や感染の予防、社会システムの維持などに奮闘努力されている方々に、感謝と称賛の意を表します。

私たちは、日本そして事業を展開する世界各国において、長きにわたり生命保険事業を通じて人々の生命と安全、そして健康を支えてきました。「一生涯のパートナー By your side, for life」、それは私たちがこれまでも、そしてこれからも大切にしていく不変のミッションです。あの東日本大震災において当社グループは、お客さまを守り、社会に尽くすことにその総力を挙げて取り組んだように、この未曾有の世界的危機に直面している今こそ、私たちは人々に寄り添いながら安心をお届けする生命保険事業者としての使命を着実に果たしていくとともに、各国社会そして地域の一員として、あらゆる手段を通じた貢献に取り組んでいきます。

当社グループは日本をはじめ、アジアや豪州、北米などで事業を展開していますが、現在のところ各国グループ会社の強くなりリーダーシップと従業員の努力のもと、それぞれ事業を継続することができています。事業の継続にあたっては、各国各地域のお客さま、ビジネスパートナー、そして従業員の安全と健康を第一に考え、一部の特別対応等(※)を加味しながら各国の事情に応じた事業活動を鋭意行っています。

また、今回のウイルスの感染拡大等により、世界経済も大きな影響を受けましたが、当社グループは適切にリスクコントロールや健全性の確保に向けた取り組みにより、2020年3月期業績における直接的な影響は限定的と考えています。今後の経済動向は決して楽観視できませんが、引き続きその動きを注視し、グループの堅実な経営を継続していきます。

今回の災禍は、いまだ先が見えない状況です。多くの方々が不安や恐怖を感じながら、そして不便や制約を受けながら暮らしています。しかし、世界中の多くの人々が、規律を持ち協力しながら、この困難を乗り越えようとしていることは大きな希望です。私たちは、この協力の輪の中に積極的に加わり、安心の最高峰を、地域へ、世界へとお届けすることで、社会的使命をしっかりと果たし、皆さまと共に危機を克服していきたいと考えています。

私たちは、皆さまと共にいます。どうか明るい未来への希望を持ち、安全と健康に留意してお過ごしください。

第一生命ホールディングス株式会社
代表取締役社長 稲垣 精二

※ [2020年4月16日追記] 日本国内における特別対応として、第一生命保険株式会社では当面の間、全国においてお客さまへの訪問営業を自粛しているほか、第一生命ほけんショップの臨時休業等の対応を取らせていただいております。また、第一生命保険株式会社に加え、第一フロンティア生命保険株式会社、ネオファースト生命保険株式会社において、各社商品にかかる保険料のお払込みに関する特別取扱い等の対応を実施しております。詳細につきましては、各社のウェブサイトをご覧ください。